

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) The Relationship between Joint Pain and Climate Conditions in Japan. 《筆頭論文》	共著	2011年2月	Acta Medica Okayama Vol65, No.1	気候が関節痛の有訴割合に与える影響を検討し、日光への曝露による効果の可能性を指摘した。(8ページ) K. TOKUMORI, D.H.WANG, T. TAKIGAWA, J. TAKAKI, K. OGINO
2 (学術論文) 岡山県矢掛町における高齢者の移動手段と県内バス会社のノンステップバス導入状況 《筆頭論文》	共著	2006年7月	福祉のまちづくり研究 Vol.8 No.1	同町における高齢者の公共交通使用状況と県内のノンステップバスの導入状況を調査。交通バリアフリー法改正の必要性を提案した。(7ページ) 徳森公彦、汪 達紘
3 (学術論文) 高齢者における転倒評価スケールの検討～転倒予防・易転倒性評価における全身反応時間測定の意義～ 《筆頭論文》	共著	2006年10月	日本予防医学会雑誌 Vol.1 No.1	全身反応時間測定は、他の転倒評価スケールと相関があり、介護予防や転倒予防のスクリーニング検査として利用できる可能性を指摘した。(7ページ) 徳森公彦、小島真二、坂野紀子、岡 隆、平田幸久、汪 達紘、荻野景規
4 (学術論文) 保健指導に対する行動変容難渋者のセルフモチベーションテストによる予測	共著	2008年3月	人間ドック Vol.22 No.5	行動変容の意思を評価するスケールとしてのセルフモチベーションテストの有効性を検討した。(6ページ) 小島真二、徳森公彦、池田敏、神原咲子、野崎真奈美、小牧久和子、藤井昌史
5 (学術論文) Questionnaire in Evaluation of Exercise Capacity of Community-Dwelling Japanese Elderly	共著	2006年11月	Environmental Health and Preventive Medicine Vol.11, No.6.,	Veterans Specific Activity Questionnaire (VSAQ) を用いたアンケートによる運動耐用能評価の適合度の検討と、日本人高齢者向け Modified-VSAQ の作成の試み。(8ページ) S.KOJIMA, D.H.WANG, K.TOKUMORI, N.SAKANO, Y.YMASAKI, Y.TAKEMURA, C.M.KUROSAWA, S.KANBARA, T.OKA, K.HARA, S.IKEDA and K.OGINO